

# シックハウス対策の取組状況について

平成25年3月6日  
厚生労働省 健康局 生活衛生課

## 1. 建築物衛生関係

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」(略称:建築物衛生法)において、3,000㎡以上の特定建築物におけるホルムアルデヒドの量の測定を義務づけ。(平成15年4月施行)

## 2. 調査研究の実施(厚生労働科学研究費補助金)

- ・ 室内環境評価、住宅対策に関する研究
- ・ シックハウス症候群の原因解明のための実態調査に関する研究
- ・ シックハウス症候群の概念整理、診断基準等に関する研究
- ・ シックハウス症候群の対応方策に関する研究

## 3. 相談体制整備

- ア. 保健所及び地方衛生研究所における相談・測定体制の整備(相談・測定マニュアルの作成等)を推進。
- イ. 都道府県等のシックハウス担当職員を含む「生活衛生関係技術担当者研修会」を開催し、情報提供を推進。
- ウ. 一般の方向けの普及啓発用パンフレットを作成・配布。

# 建築物における衛生的環境の確保に関する法律における 空気環境に関する規制について

## 【建築物衛生法の規制対象】

興行場、百貨店、集会場、図書館、博物館、美術館、遊技場、店舗、事務所、学校、旅館の用に供される部分の面積が、3,000㎡以上である建築物（「特定建築物」と定義）。

※ 学校教育法第1条に規定する学校の場合には8,000㎡以上

## 【建築物衛生法の空気環境の維持管理に係る規制内容】

特定建築物の所有者、占有者等は、

- 特定建築物に、空気調和設備(浄化、温度、湿度及び流量の調節機能を備えた設備)を設けている場合  
居室において、下表の基準におおむね適合するように、維持管理しなければならない。
- 特定建築物に、機械換気設備(浄化及び流量の調節機能を備えた設備)を設けている場合  
居室において、下表の基準のうち、温度及び湿度を除く項目について、おおむね適合するように、維持管理しなければならない。

項目	管理基準
浮遊粉じん	0.15mg/m <sup>3</sup> 以下
一酸化炭素	10ppm以下(大気中の濃度が10ppmを超える場合は20ppm以下)
二酸化炭素	1,000ppm以下
温度	(1) 17℃以上28℃以下 (2) 居室の温度を外気より低くする場合は、その差を著しくしないこと
相対湿度	40%以上70%以下
気流	0.5m/s以下
ホルムアルデヒド	0.1mg/m <sup>3</sup> 以下

平成14年10月政令改正により追加  
(平成15年4月1日施行)

※建築物衛生法では、立入検査が行われ、維持管理基準に不適合で、人の健康をそこなうおそれのある事態その他環境衛生上著しく不適当な事態がある場合に、改善命令が出される。立入検査を拒んだり改善命令に従わない場合に、罰則が科される。

# シックハウス症候群関係の主な研究一覧

## (1) 室内環境評価、住宅対策に関する研究

平成10～12年度	室内空気中の化学物質に関する調査研究 (安藤正典, 国立医薬品食品衛生研究所)
平成11～12年度	住宅における生活環境の衛生問題の実態調査 (田辺新一, 早稲田大学)
平成13～15年度	化学物質過敏症等室内空気中化学物質に係わる疾病と総化学物質の存在量の検討と要因 解明に関する研究 (安藤正典, 国立医薬品食品衛生研究所)
平成13～15年度	室内環境の評価法及び健康影響の予測法の開発に関する研究 (田辺新一, 早稲田大学)
平成14～17年度	環境中微量化学物質に対する感受性の動物種差、個人差の解明:高精度リスク評価法の開発 (加藤貴彦, 宮崎医科大学)
平成16年度	諸外国における室内空気規制に関する研究 (池田耕一, 国立保健医療科学院)

## (2) シックハウス症候群の原因解明のための実態調査に関する研究

平成12～14年度	シックハウス症候群に関する疫学的研究 (飯倉洋治, 昭和大学)
平成15～17年度	全国規模の疫学研究によるシックハウス症候群の実態と原因の解明 (岸玲子, 北海道大学)
平成18～19年度	シックハウス症候群の実態解明及び具体的対応方策に関する研究 (岸玲子, 北海道大学)
平成20～22年度	シックハウス症候群の原因解明のための全国規模の疫学研究－化学物質及び真菌・ダニ等 による健康影響の評価と対策－ (岸玲子, 北海道大学)

## (3) シックハウス症候群の概念整理、診断基準等に関する研究

平成12～14年度	シックハウス症候群の病態解明、診断治療に関する研究 (石川哲, 北里研究所)
平成15～17年度	微量化学物質によるシックハウス症候群の病態解明、診断、治療対策に関する研究 (石川哲, 北里研究所)
平成15～17年度	シックハウス症候群の疾患概念に関する臨床的・基礎医学的研究 (鳥居新平, 愛知学泉大学)
平成18～20年度	シックハウス症候群の診断・治療法及び具体的対応方策に関する研究 (秋山一男, 独立行政法人国立病院機構相模原病院)
平成18～20年度	シックハウス症候群の診断・治療法及び具体的対応方策に関する研究 (相澤好治, 北里大学)
平成21～22年度	シックハウス症候群の診断基準の検証に関する研究 (相澤好治, 北里大学)

## (4) シックハウス症候群の対応方策に関する研究

平成19年度	シックハウス患者の住宅確保に関する研究 (相澤好治, 北里大学)
平成23～25年度	シックハウス症候群の発症予防・症状軽減のための室内環境の実態調査と改善対策に関する 研究 (櫻田尚樹, 国立保健医療科学院)